

旭ヶ丘キリストの教会

主日礼拝順序

2024年3月3日

司会：千田俊昭
奏楽：千田祥子

黙 祷		一 同
讃 美※	讃美歌465「うれしき朝よ」	一 同
主の祈り※	(聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください)	
讃 美	讃美歌228「ガリラヤの風」	一 同
教会学校	紙芝居「空の星より多く」	牧 師
讃 美	讃美歌308「祈りは口より」	一 同
聖書朗読	創世記16:1-3	
奨 励	創世記の福音(第13回)	牧 師
主 題	「立ち帰る信仰」	
讃 美	讃美歌296「試みの嵐」	一 同
献 金	献金と感謝の祈り	
聖 餐		
頌 栄※	讃美歌546「聖なるかな」	一 同
祝 祷※		牧 師
来週の箇所	創世記第17章	

※印のところでは御起立下さい。

- ☆ はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申し上げます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
- ☆ 私たちは何派にも属さないクリスチャン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
- ☆ 献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです(2コリント9:7)。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
- ☆ キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
- ☆ 第二礼拝後、軽食を用意してありますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
- ☆ 二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会 ニュース



《今週の歩み》

3/3(日)聖日礼拝
/4(月)
/5(火)
/6(水)
/7(木)10:00聖研
/8(金)
/9(土)13:00子供ブランチ



「オマ合意」調印後に握手をするパレスチナ首相とPLOアラファト議長。中央は仲介者ビル・クリントン

《祈りの課題》

- ① 家族の救いのために
- ② 礼拝に来れなかった人々のために
- ③ 教会学校の子供たちが救われますように

良書ハイライト

「和平のために強くあれ」

ノア・ペロンフ著「悲しみと希望」(ミルトス, 2013)p.106f

1993年9月13日は、祖父(イツハク・ラビン)とヤセル・アラファトが世界の前で握手した日として、これからずっと記憶されることになるだろう。しかし、米国ワシントンのホワイトハウスにおける式典はもう少しで行われなかったかもしれない。…二人はこれまで互いに戦ってきた。別段、驚くことではないが、アラファトを常にテロリストとして認識してきたイスラエル人にとって、アラファトに対する見方を変えるのには抵抗があった。

「お前は敵と和平交渉をしているのであって、友人と交渉しているんじゃない。」私思うに、時々祖父は自分自身を確信させる必要があったのだろう。「この男は自分の友人なんかじゃない。アラファトは私の敵だ。それでもイスラエルのためには、アラファトと和平を結ばないといけないのだ」と祖父はよく言っていた。

…祖父とアラファトがクリントン大統領と共にホワイトハウスの建物から外に現れるのが見えた。何人かのスピーチが続いた後に、いよいよ祖父の番がやって来た。

「私達はパレスチナ人である皆さんと戦ってきた者達です。その私達は今日あなた方に対して声を大にして、はっきりと申し上げます。血と涙はもう十分に流しました。本当にもうたくさんではありませんか。私達はあなた方に対して憎しみの気持ちはもっていません。復讐したいとの思いもありません。あなた方と同じように、私達は家を建て、木を植え、人を愛し、そしてあなた方と互いに手を取り合って - 人間として、そしてまた自由な人間として威厳と共感をもって - 生きてゆきたいと願っている人間なのです。私達は今日、和平にチャンスを与え、そして、あなた方に申し上げたい。血と涙はもう充分です。」

それから祖父は聖書中の「伝道の書」から一つの詩を引用した。

「天の下では、何事にも定まった時期があり、すべての営みには時がある。生まれるのに時があり、死ぬのに時がある。植えるのに時があり、植えた物を引き抜くのに時がある。殺すのに時があり、癒すのに時がある。崩すのに時があり、建てるのに時がある。泣くのに時があり、ほほえむのに時がある。嘆くのに時があり、踊るのに時がある。愛するのに時があり、憎むのに時がある。戦うのに時があり、和解するのに時がある。」(伝道3:1-4,8)

「ご臨席の皆さん、和平の時が今やってきたのです。」